11603水道業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物（小）	労働者規模
1	2017	12	13~14	定期点検を行っていた際に、傾斜板沈殿池で足を踏み外して転落した。 傾斜板沈殿池には転落防止の柵はなく、被災者は転落後、傾斜板沈殿池から上がろうと試み、設置してある梯子方面に泳いだが、途中で力尽き、溺水した（監視カメラ映像によるもの）。	61	10	418	10～29
2	2017	11	16～17	中央処理場内、合流沈砂池において、水中ポンプ用電気ケーブル接続作業中移動の際、床面の段差に躓き転倒したものである。 （翌朝に左足首に腫れと痛みがあるため受診した。）	66	2	417	50～99
3	2017	9	9～10	出口手前300mで渋滞最後尾で停車中に後方の車両が追突（相手方が携帯を見ながらの不注意運転）事故である。	42	17	231	100～299
4	2017	8	9～10	沈砂設備へフォークリフトで道具を運ぶ際、道具を降ろす作業をするため、運転手の他のフォークリフト脇に被災者が立ち乗りをしていた。 到着直前に右転回移動中、被災者がフォークリフトから飛び降りたところ、フォークリフトの左後輪に右足甲を轢かれた。	46	6	222	10～29
5	2017	4	10～11	空気弁の鉄蓋をこじ開けて、鉄蓋と蓋枠の間に隙間をつくり、右手で鉄蓋を支えて開けようとしたが、鉄蓋が思いのほか重かったため支えきれず、鉄蓋と蓋枠との間に指を挟み被災した。	42	7	611	10～29

6	2017	4	14～15	水処理棟点検作業に向かうため入口で自転車を降りようとして右足を上げた際に、作業ズボンがサドルに引っ掛かり自転車と共に左方向に倒れ込み、右足の膝下腿あたりを地面に強打した。	57	2	362	50～99
7	2017	2	12~13	業務の為伺った際に雨でマンションの床が濡れていて足を滑らし段差から落ちた。 その際、右足首から音が出て時間とともに腫れてきた。	52	1	413	10～29
8	2016	12	12～13	工事用の仮設コンベヤが故障したため、コンベヤの停止を確認し、コンベヤ端部に詰まっていた脱落部品を除去しようとしたが、棒鋼を取り除くことができず、手で引っ張りながらコンベヤを始動させたところ、手を引き込まれたのですぐに引き抜いたが、その際に右手の指に裂傷等を負った。	55	7	224	30～49
9	2016	10	9～10	浄水場洗砂排水処理桝にて汚泥両測量を行っていたところ、足場板に移るため迂流壁土で身体の向きを変えた際、バランスを崩し高さ1.9mの桝内に転落。底に溜まった10㎝程度の汚泥に仰向けに転倒し、右手首を骨折、右足を捻挫した。	61	1	418	10～29
10	2016	8	11～12	浄水場内倉庫で作業の下調べ中、棚に置いてある部品の確認作業を行っていた。棚に鋼板が10板立てかけた状態であった。被災者が棚に置いてある部品の確認作業を行っている際、立てかけてあった鋼板が被災者に倒れ、右足付け根から下が、鋼板の下敷きとなり、被災した。	37	5	521	30～49
11	2016	8	8～9	ろ過池浄水室内の清掃状況を確認するため、マンホールから浄水室上段に入り、業者から投光器を受け取ろうとした際に誤って足を滑らせ、1.5メートル下の浄水室下段へ転落し、右足大腿骨を骨折した。	41	1	414	30～49
12	2016	7	15～16	計器類の巡視点検中足がつった。その後、足に痙攣の症状が出てきた。	55	11	715	50～99

13	2016	7	10～11	水道メーターの検針を行う為敷地に入り、メーターの所まで向かう途中、足がつる草に引っかかり転倒。手から着地した際負傷した。	52	2	417	30～49
14	2016	5	18～19	事務所を退所し、駅に着き、改札を出てバス停に向かう途中躓いて転倒した。	62	2	417	10～29
15	2016	3	16～17	見通しのよいほぼ直線道路において、反対車線を走行してきた乗用車がセンターラインを超え、被災者運転車両と互いの左前部が衝突した。	56	17	231	10～29
16	2015	11	15～16	単車で走行中、信号のないT字路で右折するため一時停止中のトラックの後方に停車したところ、トラックが急にバックしてきた。単車がトラックの後方に挟まった状態でトラックは停まったが、トラック後部が単車に衝突した際の衝撃により負傷した。	63	17	221	100～299
17	2015	11	13～14	駐車場でバイクの点検時に試乗した際、運転操作を誤り、柱に接触して左手をつき、舟状骨骨折をした。	46	3	231	50～99
18	2015	10	13～14	バイクで訪問先へ向かっていたところ、路地を西側から交差点に進入した際、南側から北進してきたトラックと出合い頭に衝突、転倒した。	60	17	221	50～99
19	2015	10	9～10	走行中、相手方がセンターラインを越えて走行してきたため、よけきることができず、正面衝突。	62	17	231	50～99
20	2015	9	16～17	水道開栓作業に向かうため、原付バイクにて走行中、三又路を右折するため車が途切れるのを停車して待っていた。自動車が左から右折してきたが、当方バイクに気付かず小回りで右折してきたために、バイク前方と相手方車両右前方と衝突。バイク	65	17	231	1～9

				に乗車したまま右側へ転倒し負傷した。				
21	2015	9	10～11	構内でトラックから道路補修用合材（約30kg）を降ろしている時に手が滑り落下させてしまい、それを過度に力を入れ支えた際に右手首を負傷した。	62	19	611	50～99
22	2015	8	14～15	次の検針へ向かうためバイクへ近づこうとしたところ足がもつれて転倒しコンクリートに右手をついた。	66	17	231	30～49
23	2015	5	10～11	配水池内洗浄後の確認作業中、滑って転倒し、頬を骨折した。	32	2	417	100～299
24	2015	5	17～18	アパート屋上に設置してある高架水槽の中を確認するため、水槽上部まで上がった。点検口蓋設置の錠が所持する鍵で開かなかったため、その場から降りようした際、手を掛けていた水槽設置オーバーフロー管が外れバランスを崩し、高さ約2mの足場から背中を下にした状態で転落した。	56	1	418	30～49
25	2015	5	11～12	ベルトプレス脱水機付帯設備（トロンメル）洗浄作業中に足元が濡れていた為、滑って転倒し、右膝を床面に打ちつけた。	19	2	416	100～299
26	2015	4	12～13	住宅を訪問し、5階へ上がろうと敷地内を移動中、当日は雨が降っていたため、普段は通ることのない通路を通っていたところ、3段の階段があることに気付かず、誤って足を踏み外して滑り落ち、階段の角で後頭部を強打し、負傷した。	59	1	413	10～29
27	2015	4	3～4	浄水場内の薬品注入棟内で、浄水処理作業に使用する浄水処理薬品の在庫管理の点検中、次の薬品の点検へ移るために、通路の段差を降りようとしたところ、下にあった高さ2センチほどの縁の上に右足を降ろした際に、バランスを崩し、足首をひねるような状態になり、負傷した。	62	2	417	50～99

28	2015	2	15～16	ポンプ場の除雪委託業務の立合のため、上司と2人で、約2m80cmの雪山に登った。委託業者との打合せが終了し、雪山を下りている時、体のバランスを崩し、約1m位の地点からすべり落ち、アスファルトの地面に左足を強く打った。	50	1	416	50～99
29	2015	2	11～12	T字路交差点において、一時停止をし右折で本線に出ようとしたところ、本線右方向から進行してきた、相手方車両の左後方側面に接触した。	68	17	231	10～29
30	2014	11	15～16	応急給水槽を用いた給水訓練の予行練習を実施するための準備作業中に、覗きこむような姿勢で作業していた際、空気の圧力により鉄キャップが吹き飛び顔面を直撃した。	46	4	391	30～49
31	2014	11	8～9	事業所1階の玄関口にて段差に設けられていた木製スロープに左足を挟むようにして転倒、さらに右足をコンクリート床に強打した。右足の親指付け根の骨と左足外側小指と踵の間の骨が折れた。	60	2	417	30～49
32	2014	9	17～18	自家用車で通勤しているが、借りている駐車場へ向かおうと時間外で入口を出たところブルーシートがあったため跨いで通ろうとしてつまじき前方へ転倒して左ひざを強打して負傷した。	56	2	379	500～999
33	2014	8	9～10	雑草が伸びている水路で除草を行うため水路際を歩いていた際に足を踏みはずし水路に転落した。転落した際に左手を打ち骨折した。	56	1	418	100～299
34	2014	6	11～12	屋上貯水槽タンク検査中、高置水槽のオーバーフローチェックの為、水槽の反対側に回ろうとし、配管を越え着地した際、左足首を捻り、骨折した。	62	19	391	10～29
35	2014	5	11～12	2階から書籍を持って階段を下りていた際、5段目付近で靴底が階段の滑り止めに引っ掛かり、1階床面まで転落、左顔面、左ひじ、左足を強打、出血した。	41	1	413	50～99
				油倉庫で２００Ｌのオイルの入ったドラム缶を１名でキャリア				

36	2014	3	10～11	を使用して倉庫から外へ出そうとしたところ、倉庫内から外へ出すところがスロープになってたため勢いをつけないと登れない状態のところ、勢いをつけるために踏ん張った時左足のふくらはぎに違和感を覚えた。	51	19	611	50～99
37	2014	3	11～12	高床型トラックを使用しての午前の汚泥運搬作業が終了し浄化センターに戻り、①駐車場で②運転席から後ろ向きに降りる際に③右足での着地を見誤り、凍結していた所で④足を滑らせて⑤駐車場上に転倒し、その際に右脚股関節を伸ばしてしまい、右大腿骨頸部骨折となった。	53	2	417	10～29
38	2014	2	15～16	活性炭排水ピット内に貯留していた活性炭を清掃するため、はしご段で降り 足を踏み入れた時、２０ｃm以上足が埋まってしまった。無理な態勢で足を 引き抜こうとして股関節を痛めた。	41	19	523	50～99
39	2014	2	14～15	ダンプから車外に下りる際、ステップに足を乗せた時、滑ってしまい、車体に 強く胸を打ちつけて打撲した。	39	3	221	10～29
40	2014	1	15～16	被災地を検診中、水道メーターの検針お知らせ票を敷地玄関前ポストに投函し移動しようとしたところ、玄関ポーチの段差につまずき、転倒。左膝を打ちつけて負傷した。	55	2	417	30～49
41	2013	12	8～9	駐車場から徒歩で職場へ向かっていた際、建物の入り口付近の段差に躓き、転倒した。	51	2	419	500～999
42	2013	10	10～11	浄水場ろ過池のフローコントロール室内(地下3.6m)での場内点検を終え、地上部に戻ろうと鉄製のタラップを上っていたところ、誤って転落した。	59	1	418	300～499
43	2013	10	11～12	温水修繕工事現場にて、掘削作業の際、バールで土をほぐそうと打ち下ろしたところ、石を弾き、足の甲に当たった。	44	4	364	50～99

44	2013	10	14～15	被災者が水圧計を外し、同僚が消火栓の蓋を閉じ、ハンマーで蓋のずれを直していた際、被災者が水圧計のコードを回収していたところ、誤ってハンマーの下に手を出した為、叩かれ、示指開放骨折した。	58	6	364	100～299
45	2013	9	14～15	受水槽清掃中、洗浄用高圧ホースを踏み、足を滑らせ、転倒した。	52	2	379	10～29
46	2013	7	8～9	事務所入口の階段途中にて、携帯電話を忘れたことに気がつき方向転回した際、足を踏み外し、バランスを崩し、1mどの高さから転倒。地面で肩を強打し、肩鎮関節を脱臼した。	45	2	417	10～29
47	2013	7	10～11	原動機付バイクで走行中、交差点を通過しようとしたところ、交差点の右方向から走行してきた乗用車と出合い頭に衝突した。	62	17	231	10～29
48	2013	6	13～14	樹木の剪定作業中、電動バリカンを持ち替えた際、手の人差し指と中指が誤って電動バリカンの刃に接触した。	61	8	169	50～99
49	2013	5	12～13	文化体育事業（ソフトボール）にて、遊撃手としての守備中、相手チームの強い打球が飛んできて、捕球手前でボールが跳ね人差し指を直撃した。	27	4	529	100～299
50	2013	3	15～16	配水池内の水抜き作業を行うため、地下弁室内の梯子階段を利用し、弁室内に降りていた際、手と足を滑らせ、弁室内に転落した。	38	1	371	30～49
51	2013	1	18～19	洗管作業中、濁水の状況を確認するため、防火水槽に上がり、防護フェンスに寄り沿い、泥吐管から排水しようとしたところ、滑り、転落。近くに駐車した公用車の荷台で胸を打ち、骨折した。	57	1	418	1～9
			15～	直線の下り坂でブレーキをかけた際、雪で路面が凍結していた				10

52	2013	1	16	ため、バイクがスリップし、転倒した。	33	17	231	～29
53	2013	1	13～14	検針先に向かう際、信号待ちで停車し、再び走行を始めようとしたところ、前方のまだ発進をしていない停車中の車に追突した。	65	17	231	50～99
54	2012	11	15～16	クレーンのクレーンガータ側面に付いていた電線配管の塗装準備で、塗装箇所真下にあたる消火ガスボンベ室天井に養生としてブルーシートを広げていた際、天井から足を踏み外し、エンジン室床面へ落下した。	41	1	415	50～99
55	2012	11	16～17	請負工事業者現場事務所にて、作業打合せを終え、関係書類を受け取った後、現地確認の為急いで階段を降りていた途中、携帯電話が鳴った為、相手先と話しながら降りていたところ、足を踏み外し、足首を負傷した。	38	1	413	50～99
56	2012	8	11～12	ポンプ場地下にて点検作業中、負傷者は現場の床上にある発電機排気管の上に設置された脚立足場を乗り越え、反対側に降りた際、踏ざんを踏み外し、足を負傷した。	57	1	371	30～49
57	2012	8	8～9	排水場にて、出入口の屋外階段を降りようとしたところ、階段を踏み外し、胸と肘を強打した。	56	1	413	10～29
58	2012	8	10～11	行事として実施したバレーボール大会に参加し、試合中に飛んできたボールを受けようと後退した際、足に体重がかかり、アキレス腱を断裂した。	54	19	921	100～299
59	2012	7	14～15	浄水場の裏門付近にて、鎌による除草のため、手を伸ばした際、手人差し指をマムシに噛まれた。	67	90	719	300～499
				配水小管敷設取替工事の立ち会い中、工事完了を確認する為、消火栓にホースをつなぎ、通水確認作業を行っていたところ、				100

60	2012	5	14～15	ホースにエアーが入っていた為、ホースが蛇行した際、通行人が見えたため、通行人に当たらないように、ホースを通行人と逆側に蹴ったところ、ホース先端の金具が足の小指付根に当たり、負傷した。	52	3	391	～299
61	2012	5	13～14	浄水場内乾燥床にて、泥面測定実施中、フェンスから飛び降りたところ、踵を骨折した。	54	3	419	10～29
62	2012	5	9～10	水道メーター取替作業後、取外したメーターをバケツに入れ、手に持ち、階段（４段）を降りていた際、３段目で足を滑らせ、肘と腰部を階段に強打した。	62	1	413	50～99
63	2012	5	8～9	共同住宅の水道メーター取替作業後、取外したメータをバケツに入れ、手に持ち、階段（４段）を降りていた際、３段目で足を滑らせ、肘と腰部を階段に強打した。	62	1	413	50～99
64	2012	4	11～12	作業施設間を移動するため、国道を車で走行中、センターラインをオーバーし、対向車線の大型トラック（運転手ドア側）に衝突し、半回転し、停止。胸部、腰部等を打撲した。	43	17	231	10～29
65	2012	3	9～10	薬品溶解作業のため、タンク上のステップに足を押せた際、ステップが持ち上がり、転倒し肘を打撲した。	58	2	419	10～29
66	2012	3	8～9	出勤時、事業所内の駐車場に車を停め、事務所に向かった際、１０ｃｍ程の段差の鉄製スロープのフラットバー部に足が引っ掛かり、そのまま反対の足で着地した。その際、股関節に力が加わり、骨折した。	48	2	419	10～29
67	2012	2	8～9	駐車場裏門出口付近で、退庁する際、凍結していた路面で滑り、しりもちをつく格好で後方に転倒し、腕を強打。その衝撃で、肘関節付近を痛めた。	40	2	417	100～299
			10～	書類を持って自席に戻る際、机の下から露出している電源コー				不

68	2012	2	11	ドに足が引っかかり、バランスを崩し、書類を持っていたために手で体を支えられずに転倒、骨折した。	52	2	911	明
69	2012	1	13～14	非常用水道工事の為、作業中、ビットを降ろしていた際、ワイヤーをにぎり、滑車に巻き込まれ、負傷した。	23	7	229	1～9
70	2012	1	9～10	配管研修準備中、１００ミリ口経の鉄管を同僚と２人で運ぶため、革手袋を着用し、鉄管に手をかけ、持ち上げようとしたところ、そばで同じ作業をしようとした別の作業者が積んでいた鉄管に足をかけたため、鉄管が数本、被災者の運ぼうとしていた鉄管の上に崩れ落ちた。手親指を鉄管と鉄管の間に挟まれ、負傷した。	60	4	521	50～99
71	2011	12	17～18	Ａ東側の階段から、両手にゴミ袋を持って下っていたとき、靴のヒールが階段の框に引っかかり、バランスを崩して滑り落ちた。落ちてすぐに激しい痛みがあり足が動かなかったので、救急車で病院へ搬送された。レントゲンの結果、右脛骨骨折と右腓骨骨折と診断された。	42	1	418	100～299
72	2011	11	14～15	区道上で、現場調査業務のため、社有原付バイクで走行中、右横を併走中の乗用車が駐車の為安全確認を怠り、急に左へ寄って、被災者バイクと衝突した。	42	17	231	10～29
73	2011	11	23～24	部材の切り込みが終り、手前に引き寄せ切りくずを除去しようとした際、手袋が電動鋸刃に触れ、右人示・中・環指を負傷した。	50	8	131	50～99
74	2011	10	10～11	水道メーターを検針中、水道メーター前に粗大ゴミとして出されていたテーブルがあったため、それを動かしたところ、腰に無理な力がかかり、腰を痛めてしまった。	41	19	391	50～99
75	2011	10	13～14	送風機のベルト点検のためファンを停止したが、完全に止まる前にＶベルトに触り、左手中・薬指を切傷した。	59	8	129	10～29

76	2011	8	11～12	給水停止解除作業中、階段で足を踏み外し転倒。その際、手すりを握り踏ん張ったところ、右手親指を骨折。一旦、事務所へ帰社し同僚に付き添われ病院を受診した。	32	1	413	30～49
77	2011	7	11～12	業務のため下り坂をバイクで走行中、路面にあった残留物に前輪が乗りスリップし、転倒、負傷した。	54	17	231	300～499
78	2011	4	14～15	Ａ水処理センター最終沈殿池下段において同僚３人とともに、汚泥かき寄機駆動軸用グリス配管の点検作業を行っていた。下段上部スプロケット部のグリス漏れの状況確認のため、整流壁上部に梯子をかけて昇ったとき、最終沈殿池下段での明るさの不足した場所梯子の適正な角度７５°を保てない状態かつ梯子を固定しないまま約５０°の角度の状態であった。そのため梯子の下端接地部（スベリ止めあり）が滑り、梯子の上端が整流壁上部からはずれ、梯子ごと被災者が床面に落下し手首を強打し負傷した。	47	1	371	50～99
79	2011	3	14～15	被災職員は、人事異動に関わる資料作成のため本館３階でパソコン作業をし２階事務室のプリンターで印刷するため階段を数回往復していた。３階から２階へ降りる際２階のフロアから２段目の場所から下の段に左足を着けようとして空足となり、フロアに左足つま先から突っ込み両ひざを打ちながら前のめりに転倒した。	48	2	413	30～49
80	2011	3	13～14	被災労働者は、軽貨物自動車に乗車し、現場に赴き、店舗の解体に伴う水道メーターの取り外しと開栓業務を行った。その後、取り外したメーターの位置をスプレーでマーキングし、スプレー管を軽貨物自動車の後部座席へ戻した。戻す際に左手でスライドドアを閉めたところ、右手が運転席側ドアとスライドドアの隙間にかかっていたため、右手中指第１関節先５ミリをはさみ切断した。	63	7	221	30～49

81	2011	3	11～12	浄化センター内で終沈掻揚機チェーンメーカー確認作業終了後の器具片付け中、軽トラックへ機材を載せ、電工ドラムコンセントを引き抜くために振り返ったところ、路面陥没箇所に足を取られ、足首を捻った。	53	19	416	100～299
82	2011	2	10～11	ポンプ場内の雨水沈砂池にて点検を行う為沈砂池除塵機裏のマンホールよりはしごにて槽内に降りた際、床面にて足を滑らせ足首をひねり転倒した。結果左足首を骨折し右足のすねを切創した。	58	2	417	1～9
83	2011	2	14～15	Ａ市のＢ水源地（Ｂ公園）で同僚二人と排水路に架かるΦ５００耗導水管のバルブ捜査の作業中に、隣に架かる電線管の鉄製の侵入防止柵が曲がって開いているのを発見した。被災者がその管に乗って元に戻そうとした際、１本目を直し、２本目に取りかかっていたところ、根元から折れその反動で深さ１．８ｍの排水路へ左足から落ち負傷した。	52	1	521	500～999
84	2011	1	9～10	被災者が水道メーターの検針を終え、階段を下りていたところ、残り数段のところで誤って足を踏み外し、階段下まで飛び降り、両足で着地した際、腰部に痛みが走り負傷した。	34	19	413	100～299
85	2010	9	10～11	Ａ町のＢ源泉において、源泉を湧出させダクト（温泉液出路）へ取込む作業の準備中に、誤って左足をすべらしダクト内に挿入しやけどをした。（温泉熱８３℃）	43	11	391	1～9
86	2010	9	10～11	被災労働者が、Ａ市Ａ宅にて、水道メーターの取替作業中、メーターの位置が深く、無理な体勢で作業していたところ、突然右肘の筋が切れたような音がして激痛が走り、負傷したものである。当日は作業を途中で中止し、様子を見ていたが、翌日も痛みがひかず、右肘が曲がったままになっていた為、病院で受診したもの。	63	19	418	100～299
			11～	清算業務のためＨ区Ｋ地区へ７０ccのカブで向かっていた。Ｈ区ＫのＳ堤防道路交差点に進入した時に事前に速度を十分に落				300

87	2010	8	12	しておらず、交差点に入ってからブレーキをかけたところ、路上の砂が集まっていた為、スリップして転倒し負傷したもの。	55	17	231	～499
88	2010	8	10～11	被災労働者が、Ａ市の検針を終え帰社途中、検針終了前に両足ふくらはぎに違和感を感じていた為、急いで帰社しようとバスに乗車したが、全身に汗をかき冷えて寒く、市営地下鉄Ｂ駅構内のトイレで着替えをしようとしたところ、トイレ内で全身麻痺を起こし失神して倒れ、数分後人の呼び掛けに気付いたが、救急車で搬送されたもの。	60	11	715	100～299
89	2010	7	18～19	被災職員は、同僚職員（５名）と道路取付管の漏水修理を行っていた。作業が終了したので、後片づけを始め、左手に重ねたカラーコーン４つと、右手にバケツを持ち、東側に駐車してあるダンプに積み込もうとして、作業車の右側を歩いていた。その時、西進してきた車が被災職員に接近してきたため、その車を避けようと左に寄ったところ、左手に持っていたカラーコーンの先が作業車に接触して跳ね返り、そのカラーコーンに足が引っかかり転倒し、負傷した。なお、被災職員はヘルメット、作業用安全靴、軍手、作業用シャツ（長袖）を着用していた。	52	6	221	50～99
90	2010	5	16～17	Ａ浄水場内で５月７日１６時２５分頃、緩速ろ過地アウト側に露出して設置していた塩化ビニール製の工事用仮設管（口径１００mm長さ５０m重さ１８０ｋｇ）を作業員４名（短時間労働者３名・シルバー１名）で斜面から地面に下ろす（撤去）作業中、シルバー人材センター作業員、Ａ氏（７４）が場内の土手から約２メートル下の路面に転落して頭を強打し、搬送先の病院で１６時間後に死亡した。	74	1	418	50～99
91	2010	5	9～10	沈下地点検時、点検に気をとられ、通路側溝の段差を踏み外し転倒。右足のじん帯を痛める。	25	1	417	10～29

92	2010	3	11～12	雪まじりの天候の中、検針業務のためバイクで走行中、雪にハンドルをとられ右折するところを直進し、バイクもろ共、田に転落し足を強打したもの。	56	17	231	10～29
93	2010	3	9～10	Ａ町Ａ庁舎３ＦＡ事務室内において、徒歩で移動中、椅子に左足を引っかけ転倒した。左足を引っかけた際に左足首、右足首を捻挫した。	61	2	417	30～49
94	2009	10	16～17	水道料金督促の対象宅訪問のため、２階から１階への階段を降りた時、階段を踏み外して２段落ちて転倒し、左足を骨折した。	43	1	413	10～29
95	2009	8	9～10	水処理施設において、地下管廊内に設置されている砂濾過設備のオートストレーナー減速機のオイル交換作業終了後、隣のオートストレーナーに移動しようとした時、配管上で足を滑らせ、配管を跨ぐ様な体勢で尻を打ち、その衝撃で胸部を骨折した。	40	2	418	30～49
96	2009	8	13～14	水道メータ検針のため、バイクを運転して道路を走行していた。Ｔ字路の交差点を直進していた。一方、対向車線の車両が、Ｔ字路突き当たりの自宅駐車場に入庫するため、いったんＴ字路を曲がって停車後、車庫へバックで入ろうとしていた。その時、バックする車両に向かって別の車両が近づいてきたため、後方不注意で被災者のバイクに気付かず、バックを急ぎＴ字路内に入った。このため、車両がバイク側面に衝突し、被災者は首と足を負傷した。	40	17	231	30～49
97	2009	8	10～11	配水池巡回後、浄水場取水口の清掃（前日の雨による落葉の詰まりを除去）をするため、狭い下りの山道（砂利道）を歩いていた。前日の雨で滑りやすくなっていた路面に左足を取られ、転倒を避けるため右足で踏みとどまったが、右足も滑って転倒した。右足で踏みとどまった際、右足を骨折した。	64	2	711	1～9
								10

98	2009	7	15～16	水道メーター検針の為、バイクで走行中、右折の際に縁石に乗り上げて転倒し、右肩と顔を負傷した。	60	17	231	～29
99	2009	5	17～18	水道メーター取替え作業中、スパナとメーターボックスの鉄枠の間に左手指を挟み、指を骨折した。	51	7	364	10～29
100	2009	4	16～17	汚水管渠築造工事に係わる配水管布設替工事の監督員の業務に従事していた。道路中央付近において、消火栓の調整操作をしていたところ、背後から走行して来た車に接触し、前方に跳ね飛ばされた。その際、顔に裂傷を負い、また背中を強打し負傷した。	52	17	231	30～49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：労働災害の分類の概要

各小業種における死傷災害100事例（-2017年）に戻る。